

補正予算の審議から Q&A

【抜粋】

● 一般会計補正予算ならびに国民健康保険特別会計補正予算など10件の補正予算が提案されました。

一般会計補正予算では、地方交付税5億7400万円、県支出金3億4800万円など、歳入全体で21億4900万円を増額するといふものです。

質問 木質バイオマスを活用したガス化発電は、実用にあたっては多くの問題点が指摘されています。設備後、連続運転ができなくなり、昨年補助金返納の決定を受けた市があることや、鹿児島県のある市では、補助金を含む10億円近くの設備費用をめぐって係争中です。また、メンテナンス代がかさみ、収支が全く合わない等の声も聞かれています。このようなことから契約の際は、これらについても充分に反映させる必要があると考えますが伺います。

答弁 国内では、すでに何か所かで検証されていますので、十分な稼働が出来るものと考えています。しかし、稼働しないことになると大変なことになりますので、これらをクリアできるような業者と充分に話し合いをして、契約の中にきちんと盛り込みたいと考えています。



木質バイオマスガス化システム（衣川区 黒滝温泉）

質問 母子家庭高等技能訓練促進費等給付費については、このような雇用環境下においてはとても大事な事業です。利用状況とPRについて伺います。

答弁 今年は、4名が申請をし、看護師を目指し専門学校に入学しています。介護福祉士や看護師、保育士などの資格を取って頂くことは市の福祉を向上させる上でも大事な事業だと考えています。今後もしっかりとPRしたいと考えています。

質問 就学援助を申請する家庭が多くなっていると聞きますが、認定が厳しすぎ必要な人が認定になつていないとの関係者の声もありますが実態について伺います。

答弁 就学援助申請の認定率は、7〜8%に増えており、今年度から条件緩和をしています。申請数は、小・中で897名ですが、認定となったのは789名です。さらに、再審査を申し出て認定されたのは9名です。今後は、できるだけ民生委員や関係者の話も聞きながら、対応をしていきたいと考えています。

質問 富士通の再配置計画において、1130人の従業員のうち約700人が退職する報道がされました。実態をどのように把握しているか伺います。

答弁 退職する700人のうち、市民は約200人位と思います。11月に、「再配置」を迫られ退職した方々を対象に、合同説明会が開催され、市からも参加し対応したところですが、今後も、市独自でも必要なものは検討したいと考えています。

質問 県教委が、35人学級の実施に対する意向調査を実施しました。それによると、実施しないと答えたのは、奥州市と金ケ崎町のみだったと聞きます。不登校などの現状を踏まえ、せめて中学1年生は実施すべきではありませんか伺います。

答弁 配置される先生はすべて非

常勤であり、将来的にも県がきちんと保障してくれるなら実施しても良いと考えますが、それらは今のところ、何の担保もありません。今後、県教委と前向きに話し合いたいと考えています。

● 奥州市簡易水道事業特別会計水道事業会計補正予算について

質問 水道は市民にとって、命の源です。今回の委託予定の業務は、賦課・徴収を伴うものであり、外部に委託して良いものなのか疑問です。すでに実施されている北上市の教訓では、企画書をそろえるのに3か月はかかるため、ノウハウのある大手の業者しか手をあげられなかったようであり、地元業者は参入できる見通しはありません。そのため、当市においては、北上市の教訓を基に検討する時間を十分にとり、慎重にやるべきだと考えますが見解を伺います。

答弁 規制緩和により移行するもので、奥州市と同規模の市は約半数がすでに委託をしています。今回実施するのは、賦課から徴収までであり、水道業務全体ではありません。水道事業については、最終的には市が責任を持つものです。